

YOUTH MANNA

Grace
Community
2024
Be

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/10/14(月)

ピリピ2:12-30

2人のパウロの友人について見てみよう。

①テモテ

「ピリピの教会へ派遣される人はテモテが適任だ(22)」とパウロは言われた。みんなは、適材適所という言葉を知ってるかな？それぞれの能力や賜物に合った仕事や役割が与えられることを意味する言葉だけど、自分が得意なこと、これは私こそ適任だと思えることを書き出してみよう。(出来る人は友達に分かち合ってみよう！)

②エパフロディト

ピリピの教会の献金を携えてきたエパフロディトは、獄中のパウロを献身的に助けた「同労者、戦友(25)」であった。パウロの愛は神様、そして兄弟姉妹にも向けられ、祈りがささげられていた。私達もパウロのように、尊敬できる信仰の友、主の働き人のために祈ろう！

2024/10/15(火)

ピリピ3:1-11

パウロは「犬に、肉体だけの割礼の者に気をつけるように」と警告しています。つまりイエス様の救いだけイエス様を信じるだけで救われますが律法を守って割礼を受ければ救われるという行い主義の人達に騙されないようにと言いました。

行い主義は聖書の時代の人達だけでなく今の時代を生きる私達も陥りやすいものかもしれません。

パウロが自分にとって得であったことを捨てたように、私達も神様を頼らなくなるような頑張りや信じることをバカらしくさせるものがあれば神様の前に祈り決別しよう！

2024/10/16(水)

ピリピ3:12-21

●君は今目標に向かって頑張っていることはあるかな？パウロは、クリスチャンの生き方は競技者が走るようなものだと言っているけど、そのゴールは何だと言っているだろう？

●20節に注目しよう！日本国籍の僕らは、日本のことばや文化を理解し生きているね。では、天に国籍を持つ人として、神のことばを理解し、御国の価値観を持ってこの地上で生きるなら、どのような生き方になるだろう？

●私たちの内におられる聖霊は、イエス様の姿へと日々私達を変えてくださる！今日もイエス様に心を向けて歩もう！

2024/10/17(木)

ピリピ4:1-9

●パウロはピリピの教会に『主にあって』どうしろと言っていたかな？1,2,4v

●一個目の答えは、3つあるけどどれがすきかな？

●パウロは6vで『思い煩うな』といっているよ。これは心配しない強い人になれるということじゃなく、心配してることを祈って神様にゆだねようと言っているんだ。私たちが心配するようなことは、神様が考えることだよ。だから今、心配してるようなことがあったら神様にゆだねよう！

2024/10/18(金)

ピリピ4:10-23

15-17vを読もう！

●ピリピの人たちはパウロの働きために、どんな事をしたかな？

●17vでパウロは「霊的な口座」があるって言ってるね。普通の口座はお金を入れると増えるけど、霊的な口座は何をすると増えるのかな？

●ピリピの人たちは貧乏だったけど捧げる喜びを知っていた。神は誰のために捧げたい？そうやって神の働きに関わっていこう。

2024/10/19(土)

ピレモン1-16

ピレモンはパウロを通して救われ、パウロやテモテと一緒に神様の働きをする者となった人で、彼の家にある教会で伝道や牧会の働きをしていた。

そんなピレモンにパウロは彼の誠実な働きを喜んでいて伝えて、一つのお願いをした。それは一度離れて行ったオネシモを赦して愛をもって受け入れることだったんだ。この時パウロは上の立場としての命令ではなく、あくまでお願いするという形をとった。この手紙から、私達も神様の視点からお互いを愛し、赦し合うことを学んで受け取っていこう！

2024/10/20(日)

ピレモン17-25

パウロは、回心したオネシモを兄弟として受け入れるようピレモンに懇願し、オネシモの負債を自分が償うことを約束しています(17-19)。また、ピレモンが神のみこころに従い、オネシモをパウロのもとに送り返すことも期待しています(20-22)。手紙は3節の「恵みがあるように」との最後に繰り返されて、この手紙は閉じられます。

パウロは、獄中で世話をしてくれているオネシモを送り返し、彼の負債を引き受けるという犠牲を払ってまで和解を仲介します。ここにキリストに似る者としてのパウロの姿があります。

祈り 神様、兄弟姉妹と和解するという愛の実践に私を進ませてください。